

## 平成 30 年度 第 1 回 湘南港利用者懇談会 要録

日時 平成 30 年 12 月 2 日(日) 15 : 00~16 : 30

場所 江の島ヨットハーバー ミーティングルーム A

出席者 別紙出席者名簿のとおり

冒頭 湘南なぎさパーク 代表取締役社長 水田よりあいさつ

利用者懇談会にご出席いただきありがとうございます。

今年 9 月のセーリングワールドカップシリーズ江の島大会(以下 WCS)について、前後の期間を含め利用者の皆様には、ご不便、ご負担をおかけしました。また、ご協力をいただきました。深く御礼申し上げます。様々な反省点がありますが、来年の開催にも向けて、県等と改善策を検討しています。今後も利用者の皆様の立場に立って、取り組んでいきたいと考えています。本日は率直なご意見を頂戴できればと思います。

### 1、 上半期指定管理実績について

(湘南なぎさパーク)

別紙「指定管理業務実績(11月まで)の報告」のとおり報告した。

利用者からの意見など

(利用者)

関東学生ヨット連盟の加盟団体 15 団体程度が湘南港を利用している。WCS とオリンピックウィーク(以下 OW)に伴うバース移動等協力した。大会終了後、各団体から出た総括意見について紹介したい。

- ・かもめ駐車場に移動した団体からは、かもめ駐車場に一か所水道があり、それでは足りず、順番待ちが発生したという意見が多い。それを踏まえもう一か所増設頂いたが、使い勝手が悪かった。艇をハーバー内で洗う団体が多く、結果的にはかもめ駐車場内の水道は使わなかったと聞いている。次年度以降は考慮して欲しい。
- ・かもめ駐車場からハーバー内への移動ルートについて、迂回路が遠い。駐車場北側にもルートが作れないか検討して欲しい。
- ・台風 24 号被害について、その後の情報(補償の有無など)が公表されていない。情報共有が必要ではないか。
- ・かもめ駐車場が遠く、急に工具が必要になった場合など不便。備品が置ける場所が必要ではないか。
- ・大会後、スポーツ課に「大会総括の開催」を要望し、県からは 10 月 15 日に「検討する」

と返事があった。それ以降返事がない。「終わったからいいや」と思っているのか」といった厳しい意見もある。

(湘南なぎさパーク)

当社だけでは解決できない問題であり、県と協議しながら解決していければと思う。艇の補償関係については、県で検討していると聞いているが、いただいたご意見を十分に共有しながら対応したい。この場で即答は出来ないが、ご理解いただきたい。

## 2、 2019年湘南港で開催の世界大会について

(湘南なぎさパーク)

微調整はあるものの、ほぼ日程が決まったのでお伝えしたい。別紙「2019 470W、テストイベント、WCS 予定表」のとおり。

- ・ 8月2日～9日 470世界選手権
- ・ 8月17日～22日まで テストイベントプレ大会 350艇前後の競技艇
- ・ 8月25日～9月1日まで ワールドカップ 規模は不明

これだけの規模であるため、艇の移動の話があるのではないかと思う。それについてはセーリング課からお話して頂きたい。

(セーリング課)

470世界選手権、テストイベント、ワールドカップがあり、引き続きご協力をお願いしたい。大会に係る艇移動については、組織委員会と調整し、なるべく早くに期間や移動先についてお伝えしたい。

利用者からの意見など

(利用者)

一般のレースはいつごろまで開催可能か決まっているか。各団体、年間スケジュールを決める必要がある。地方の人は飛行機の手配などもある。

(セーリング課)

艇の移動期間が決まっていないため、レースはいつまで、というのもお伝え出来ない状況である。

(利用者)

平成31年1月20日に海面調整会議がある。至急スケジュールを立てて頂かないといけない。そういった現場の状況も踏まえて進めて欲しい。

(利用者)

2018年度分海面調整会議の際、「9月には海面は使えない」と事前に聞かされていたが、結果的に空いている海面が見受けられた。一方他の海面が混雑し、レースができなくなる状況もあった。海面を調整する際には、本当に必要なのか決めて頂き、確定でなければ融通が利くようにして頂きたい。使えるのか使えないのかははっきり決めて、中途半端な指示はやめて頂きたい。なぎさパークも関係あるが、県、神奈川県セーリング連盟(以下県連)が認識して、意思統一して調整してほしい。

(利用者)

国際大会の艇搬入スケジュールはきまっているか。また、テンドー類はどれくらい入るのか。

(湘南なぎさパーク)

搬入はコンテナの関係もあり、まだ決まっていないと思う。テンドー類は競技艇の 1/3 程度ではないか。

(利用者)

セキュリティについて決まっているのか。

(湘南なぎさパーク)

来年の 3 大会については、主催団体が異なっている。主催団体によって求められているセキュリティレベルが変わってくるのではないかと考えている。そこがわからないと、施設管理者としても全体のコントロールが出来ないため、正確な情報をつかんでいきたいと考えている。現在は情報提供を要求しているところ。県、主催団体としっかり情報共有をしていきたい。

(利用者)

来年度大会は今年度にくらべ艇数は増える？

(セーリング課)

確定ではないが、今年と同程度ではないかと思う。今年は 335 艇となった。テストイベントは少し少ない見込みではあるが、主催団体からまだ提示はない。

(利用者)

船の移動についての情報は間際ではなく、なるべく年内にははっきりして頂きたい。移動期間と移動場所、経費その他についても提供して頂きたい。

また、今年度大会時、キールボートはディンギーバースに入らないが、ディンギーバースを使っているボートはキールボードのバースに入ってきた。そんなことは聞いていないと苦情を言っている人間もいた。

制限をかけるのであれば、はっきりと示してほしい。大会時のプロムナード付近の出入りについても、入れる・入れないなどあいまいだった。運営艇の関係者がガソリンを持って歩いているのも怖い。ハーバーの利用について、制限するならばはっきり示してほしい。

(セーリング課)

クルーザーの利用者から厳しいご意見もいただいている。告知が遅かったことなど、ご迷惑をおかけした。反省点として、2019 年に関しては、出来るだけ早く決めていきたい。

### 3、 その他

神奈川県藤沢土木事務所 なぎさ港湾課 湘南港で今年度下半期に行う工事について

(なぎさ港湾課)

・江の島大橋の 3 車線化工事は照明と高欄設置まで完了し、今後は橋の補修と床板の補強工事を進める。12 月に着工する予定。

- ・臨港道路の工事は片瀬側と島内の改良工事で、聖天島辺りまで 3 車線化していく工事を 1 月頃着工する予定。
- ・海上保安署の隣で工事を行っているセーリングセンターの新築工事は 2019 年 8 月のテストイベント前に完成させる予定。
- ・クルーザーヤードは中央ラインの一部と南ラインの一部の棧橋を交換する。12 月に着工する予定。
- ・給油施設はレギュラー・ハイオク・軽油の各 600ℓの設備を岡本造船の修理工場のとなりに設置するもので、2 月頃着工し、夏までの完成を目途に進める。現在は消防当局などと調整中。恒久施設として整備するもの。
- ・その他、ヨットハウス内の LED 化工事などを 3 月までに着工する予定。

利用者からの意見など

(利用者)

浮棧橋の柱は高さの問題があり、荒天時に抜けないようかさ上げするなどして欲しい。また、ビット(陸置、係留艇どちらも)の点検をして欲しい。

(なぎさ港湾課)

・今年の間西空港で台風被害があった時、付近の西宮の港で杭が抜けた話も聞いている。今すぐとは言えないが、計画的に検討していく。

(利用者)

ヨットハウスの雨どいについてはどうか。改修予定があるのか。特に船具ロッカーとヨットハウスの間が雨の流れが多く不便。

(なぎさ港湾課)

現在、雨どいの設計を進めていて、来年度の予算で工事する予定。

(利用者)

台風 24 号被害について。かもめ駐車場に置いていた当協会の艇 6 隻が、台風被害で貴重な船体やパーツに被害が大きかった。補償について 10 月末に県職員に質問したが、担当ではないため、決まったら連絡すると言っていた。その後県と各所有者で直接交渉するなど動きがあったようだ。行政と個人が直接折衝するという話はないと考えている。各所有者には協議の状況を報告するよう伝えたが、未だ連絡がない。つまり、県から 2 ヶ月間放置されているように思われる。県の方に聞いたら、話し合いの場を持つことについても、県の上席が禁止したような話があったと聞いている。トラブルやクレームがあった時の対応として、常識から外れている。

船はほとんどが破損しており、外国製の特別なもの。このままでは活動が出来ない。私としては、反対している県の人に抗議文を出すと同時に、朝日新聞、神奈川新聞などマスコミに出し、公表する事も考えている。これを解決しないと、今後の艇移動の相談などできないのではないかと。今日は県の方がいらしているので、週明けすぐに上司に伝えて頂き、考えてほしい。話をさせないようにしている県の人に誰なのか教えて頂きたい。オリンピック開催地に手を挙げたのだから、この問題から逃げるのはおかしい。台風 24 号が来た時、ハーバー内にあった同種の艇は無事だった。かもめ駐車場はハーバーの環境と違

うことが判る。県の中で誰が話を止めているのか教えて欲しい。その人に直接抗議をする。  
(セーリング課)

10月上旬に台風被害についてヒアリングをしたが、その後のお話ができていなかったことをお伝えできていなかったことは申し訳ないと思う。上司にも必ず報告する。

2ヶ月間連絡がなかったことについては弁解の余地がなく、ご指摘のとおりだと思う。謝罪したい。ただ、全く何も考えていないわけではなく、今、何が出来るか、出来ないのかを検討している。時間がかかり過ぎだ、というご意見についてはご指摘のとおりで、すぐにでもお話を差し上げられるよう調整している。

また、個別のオーナーの方々に直接お話をしていくような意図は全くない。学校という名義でご利用いただいている場合は、学校単位でお話をさせて頂いているところである。ご理解いただきたい。

(利用者)

予算がある、ないなどの話より前に、まずは補償に対してどう対応するのか、それを決めるのが最初の話。それが2ヶ月待たせるのはありえないと思う。また何かあったら協会として抗議を出す。

(神奈川県セーリング連盟)

海面調整会議について。来年度3つの国際大会を鑑みると、2019年6月から設備設置や移動があるのではないかと考えている。このため、県連主催のレースとしては、6月の県民レース以降、6月～9月頃までは江の島での開催を控え、葉山を主としてやっていこうという方針が11月29日の理事会にて決まった。ご案内は今週中にでもお送りしたい。海面調整会議は1月20日(日)14時からで決定した。

レースが出来る期間、出来ない期間の線引きはまだ不明。情報源である県からの情報提供がないと、ご案内が出来ない。

(利用者)

海面調整会議では、6月以降のレース申請は受け付けないという事か。

(神奈川県セーリング連盟)

県連主催の大会を組むのは控えるという意味です。なお、7月のコンテナ搬入時期などが判ればもっと具体にお伝えできるが、今はわからない状態。このような状況で、主催の大会は控えるということ。

(利用者)

・江の島を拠点にしている艇だけで運営できるレースは開催可能など、柔軟に対応してほしいと思う。

(湘南なぎさパーク)

・レース日程が決まっている中で、海外艇の搬入がいつになるかわからないと管理ができない。大会主催者や県にしっかり把握して頂いて、伝えて欲しいと思う。

(利用者)

搬入のある艇は、今年より多いか。

(湘南なぎさパーク)

3大会で、入れ替わりがあるのではないかと考える。

(利用者)

世界選手権やワールドカップ等海外大会や国内の国際大会の動向によって、各艇種の搬入出の状況がある程度わかると思う。6月にヨーロッパにて主要大会、レーザークラスは7月に鳥取で世界選手権、など。

(利用者)

今年度の国際レースを運営した感想として2点言いたい。

- ・メダルレース中、湘南港のクルーザーヤードの艇は出港可になっていた。フィニッシュ近くにクルーザーが寄ってきて、レース運営に邪魔になった。フィニッシュラインに入るなどの可能性があるのは困る。ルールがよく理解できていないようで、邪魔になっていることもわからないようである。これならばクルーザーは出港禁止にしてほしい。
- ・本船岸壁の仮設ヤードについて、運営艇が五重だきくらいになって係留しており、艇破損の危険があった。運営艇が壊れたらレースも出来ない。クルーザーヤードの内壁に仮設ヤードを作ればどうか。うねりにも対応できる。レース期間はクルーザーは出港禁止にすべき。レース成功のためにはそういった決断が必要だと思う。ディンギーも同じで、関係のない艇を出すのはリスクが大きい。

(利用者)

海外大会においては、たしかに大会本番は規制線を引くが、それ以外は全くなく、クルーザーはクルージングしているし、フェリーは通っているなど、凄まじい状況になる。それに比べれば江の島は環境としては悪くない。うまく共存できるよう誘導するなどやっていくべきではないか。運営艇が増えすぎているのも問題。運営艇を減らす方向性も考えるべきではないかと思う。海面にブイを打って、そこに20, 30艇抱き合わせるなどの世界大会経験もある。参考までに。

(利用者)

制限をかけるのであれば、きちんと周知が必要だ。また、きちんとしたメダルレースをするならば、その間は出艇禁止にするしかないのではないか。

(利用者)

指定管理者がどこまで権限をもち、利用者の要望に応じてくれるのか、わからない。応えてくれるところをしっかりと進めて欲しい。

以上